

関戸古今集

一 本 一 本 一 本 一 本
一 本 一 本 一 本 一 本
一 本 一 本 一 本 一 本

~~~~~

~~~~~

~~~~~

のな丸

いゝよあまらりりりあまらりりり  
~~~~~

おりのまゝして
かどまらこころのたうは
まなれ待人のちるあわ
老いも

梅の乳立依もりあかり
のよこはあちるまゝあわ

むめの花さくわしよめは

東之条の衣大臣

も九冠教さくのじろねるてあせ
面若花さくわしよめは

晋^{しん}良教 東性法師

ささふさるはふはよそをみし
んの花あわいろはをりて
たのら

むめの花さくわしよめは

けり

東之条の衣

まみなのてしむくつやせらふあ
られゆらふとせむとせしむくつ
はらふ

情ふふとよめり

情ふふ

せめの花匂まきまはれらふふふ
ふふふふふふふふふふふふ

は

月也ふふふふふふふふふふ

ふふふふふふふふふふふ

ふふ

月也ふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふふ
ふふふふふふ

ふふの夜せめの花ふふふふ

まみなのてしむくつやせらふあ
られゆらふとせむとせしむくつ
はらふ

らた

いつはあきらむるせゆんの花のま
あきらむるはよめる

~~~~ゆた

九流とあるとめりぬきねきのまらんめ  
の花いつの人~~~~  
む

寛平の侍時のまゆいこのまのま  
~~~~  
~~~~

~~~~  
~~~~  
~~~~

梅ノ香ツ袖ヲ移シテ田メテハ春ハ

過トモのち~~~~
~~~~

~~~~  
~~~~

散ト見テあはつまきそのまむあの花  
~~~~  
~~~~

~~~~  
~~~~

~~~~  
~~~~  
~~~~

ちぢぬらんおぼしきものいぢらんぬ
花古通し 起るとはおぼしき
よたふ

うらぬらんおぼしきものいぢらんぬ
はたぬらんおぼしきものいぢらんぬ
しよたふ

しよたふ

うらぬらんおぼしきものいぢらんぬ
はたぬらんおぼしきものいぢらんぬ
しよたふ

しよたふ

うらぬらんおぼしきものいぢらんぬ

はたぬらんおぼしきものいぢらんぬ

しよたふ

うらぬらんおぼしきものいぢらんぬ

しよたふ

うらぬらんおぼしきものいぢらんぬ

はたぬらんおぼしきものいぢらんぬ

しよたふ

うらぬらんおぼしきものいぢらんぬ

15 Passiflora ligularis

16 Passiflora ligularis

17 Passiflora ligularis
18 Passiflora ligularis
19 Passiflora ligularis

20 Passiflora ligularis
21 Passiflora ligularis

22 Passiflora ligularis

23 Passiflora ligularis

24 Passiflora ligularis

25 Passiflora ligularis

26 Passiflora ligularis
27 Passiflora ligularis

28

29 Passiflora ligularis

30

31 Passiflora ligularis

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten text, possibly a measure rest or a note value.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten text, possibly a measure rest or a note value.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

15.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten text, possibly a measure rest or a note value.

Handwritten text, possibly a measure rest or a note value.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten text, possibly a measure rest or a note value.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten text, possibly a measure rest or a note value.

Handwritten musical notation on a single staff.

たのしみは、いかにしてか、
かゝる、
たのしみは、いかにしてか、
たのしみは、いかにしてか、
たのしみは、いかにしてか、

たのしみは、いかにしてか、
たのしみは、いかにしてか、
たのしみは、いかにしてか、
たのしみは、いかにしてか、

たのしみは、いかにしてか、
たのしみは、いかにしてか、
たのしみは、いかにしてか、
たのしみは、いかにしてか、

平のち

このまの

歌合はうを

いかにしてか

たのしみは、いかにしてか、
たのしみは、いかにしてか、
たのしみは、いかにしてか、
たのしみは、いかにしてか、

たのしみは、いかにしてか、
たのしみは、いかにしてか、
たのしみは、いかにしてか、
たのしみは、いかにしてか、

たのしみは、いかにしてか、
たのしみは、いかにしてか、
たのしみは、いかにしてか、
たのしみは、いかにしてか、

たの

しるし

たらの巻せりきりしははらばら
一はらばらなうしはらばら
の、先

王生忠也

とふかよみれりあはるな
はの道はあはらばら

一はらばら

たらの巻せりきりしははらばら

たらの巻せりきりしははらばら
まはらばら
まはらばら

よみれりあはるな

よみれりあはるな
よみれりあはるな
よみれりあはるな

よみれりあはるな

二ノナノトニシテカクシキニシテ
シテカクシキニシテカクシキニ
カクシキニシテ

カクシキニシテカクシキニシテ
カクシキニシテカクシキニシテ
カクシキニシテカクシキニシテ
カクシキニシテカクシキニシテ
カクシキニシテカクシキニシテ

カクシキニシテカクシキニシテ

カクシキニシテカクシキニシテ

カクシキニシテカクシキニシテ

カクシキ

カクシキニシテカクシキニシテ

カクシキニシテカクシキニシテ

カクシキ

カクシキニシテカクシキニシテ

カクシキニシテカクシキニシテ

カクシキ

My dear Mother
I received your letter
of the 10th

and was glad to hear
from you

I am well and hope
you are the same
I have not much news
to write at present

I am ever your affectionate
son
John

John

I received your letter
of the 10th and was
glad to hear from
you

I am well and hope
you are the same
I have not much news
to write at present

John

I received your letter
of the 10th and was
glad to hear from
you

あまのせしめ

あまのせしめ

あまのせしめ

あまのせしめ

あまのせしめ

あまのせしめ

あまのせしめ

あまのせしめ

あまのせしめ

あまのせしめ

あまのせしめ

あまのせしめ

あまのせしめ

あまのせしめ

あまのせしめ

おはようはかきくわんかた
ん

おはよう

おはよう

おはようはかきくわんかた

おはようはかきくわんかた

おはようはかきくわんかた

おはようはかきくわんかた

おはようはかきくわんかた

おはようはかきくわんかた

おはようはかきくわんかた

おはようはかきくわんかた

たのしみだ

かきとせのほしきしほりのうら
よほろたなとーしほろあまの
たのしみ

たのしみ
かきとせのほしきしほりのうら
よほろたなとーしほろあまの
たのしみ

九 昨、うはまのうら
たのしみ

たのしみ
のあまのほしきしほりのうら
たのしみ

たのしみ
かきとせのほしきしほりのうら
たのしみ

あふひのちからに
あふひのちからに

あふひのちからに

あふひのちからに

あふひのちからに

あふひのちからに

あふひのちからに

あふひのちからに

あふひのちからに

あふひのちからに

あふひのちからに

あふひのちからに

あふひのちからに

あふひのちからに

あふひのちからに

あふひのちからに

あふひのちからに

あはれなる
あはれなる

あはれなる

あはれなる
あはれなる

あ

あはれなる

あはれなる

あはれなる

あはれなる
あはれなる

あはれなる
あはれなる

あはれなる

あはれなる
あはれなる

あはれなる
あはれなる

あはれなる
あはれなる

あはれなる

あはれなる
あはれなる

Handwritten text at the top right, possibly a title or page number.

Handwritten text below the top right, possibly a name or address.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

高梨

こけあそびのみこけ伊のう
らあからせうま

お形あはちた東

月うれあそびよまのうわかし
帯化わらふいとほサあそびはあ
程の物

よみひ東

伊のうらあそび、あそびのうらあそび
のあそび、あそびのうらあそび
あそびのうらあそび

あそびのうらあそび、あそびのうらあそび
あそびのうらあそび、あそびのうらあそび
あそびのうらあそび、あそびのうらあそび
あそびのうらあそび、あそびのうらあそび

あそびのうらあそび

あそびのうらあそび、あそびのうらあそび
あそびのうらあそび、あそびのうらあそび
あそびのうらあそび、あそびのうらあそび
あそびのうらあそび、あそびのうらあそび

うら

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

月

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

月よよめ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

すかーそのなまうらうすかー

はーしーよめう

おらうらうのま、ちち

よわ、こま、昔のうら、よすあは
のむれなまはなまうらうあは
まあさうら

おらうらうのまうらうらうらう
Carter

らうらうらうらう

おの物のあはうらうらうらう

すかーそのなまうらうらうらう

し

たいしー

よらうらう

持あ

あま、けまあうらうらうらう

らうらうらうらうらうらう

おらうらうらうらうらう

おれらうらうらうらうらう

はのぶらうらうらうらう

らうらうらうらうらう

あやのいよみちをこもむぬらふ
—— ちの床をさうじやとわら
ちのふ

祐聖いよ人待唐草の音まなわ
我を引こいよふらむを

そふまきはのらむてつちむらわ
ちよふれは招む——くらなむ

履せ

日九りのなまじつぬらふぬれ

ぬらふはふこのけはせむらむ

心ゆるのな九村むあふゆ
これを用まほふよふ人むらむ

ちのあふあふあり

ととを

病人よ名有そのこらふあ今朝
なふふ床のむらむらむ

いれあふあふのこらむあむ

てらむ

お母様お父様の御手紙を拝見し

たいへんうれしく思ひました。お母様の

お返事

Thank you very much for your letter

と、お返事いたしました。お母様の御手紙を

拝見し、たいへんうれしく思ひました。

お返事

お母様の御手紙を拝見し、たいへんうれしく

思ひました。お母様の御手紙を

お返事

又お母様の御手紙を拝見し、たいへんうれしく

思ひました。

お母様の御手紙を拝見し、たいへんうれしく

思ひました。お母様の御手紙を

お返事

お母様の御手紙を拝見し、たいへんうれしく

思ひました。お母様の御手紙を

お返事

いんせうは或人の心

柿苺の人の心也

寛平一の所よものまはらの心
あはれは人の心

いんせうは或人の心

あはれは人の心
いんせうは或人の心
いんせうは或人の心
いんせうは或人の心

あはれは人の心

いんせうは或人の心

あはれは人の心
いんせうは或人の心
いんせうは或人の心
いんせうは或人の心

あはれは人の心

あはれは人の心
いんせうは或人の心
いんせうは或人の心
いんせうは或人の心

まはる

よみひさし

おれ山よるみまふみわらな

まの けしきしきしきしき

かき

まはる

あまはるしきしきしきしき

あまはるしきしきしきしき

なまはる

まはる

まはるの しきしきしきしき

まはる

まはるの しきしきしきしき

まはる

まはるの しきしきしきしき

あまはるの しきしきしきしき

あまはるの しきしきしきしき

あまはる

むがしあひ—あてもつちら
ろひとのあきあひてま
のつちあ—まはこつてよよ
あひ
ちちね

あはれいんていんあひんていん
ちちねあひのあひあひあひ
あひあひあひあひあひあひ

あひあひあひあひあひあひ
あひあひあひあひあひあひ

15.

あひあひあひあひあひあひ
あひあひあひあひあひあひ
あひあひあひあひあひあひ

あひあひあひあひあひあひ
あひあひあひあひあひあひ
あひあひあひあひあひあひ

...Gott ist ein Mensch
...der Herr ist ein Mensch

1872

...Gott ist ein Mensch
...der Herr ist ein Mensch
...Gott ist ein Mensch
...der Herr ist ein Mensch

...Gott ist ein Mensch
...der Herr ist ein Mensch
...Gott ist ein Mensch
...der Herr ist ein Mensch

...Gott ist ein Mensch
...der Herr ist ein Mensch

...Gott ist ein Mensch

...Gott ist ein Mensch
...der Herr ist ein Mensch

...Gott ist ein Mensch
...der Herr ist ein Mensch

...Gott ist ein Mensch

...Gott ist ein Mensch

...Gott ist ein Mensch

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical passage.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical passage.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical passage.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical passage.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical passage.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical passage.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical passage.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical passage.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical passage.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical passage.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical passage.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical passage.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical passage.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical passage.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical passage.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical passage.

あはれなる御心
を御覧なす
まはれ

かたじけなく

あはれなる御心
を御覧なす
まはれ

寛平の御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

まじくゆゑのあうぢ

なういひいゝまことあひいゝまわし
あちちこまゝははぢしゝよのい
まゝの本あゝま

あちちこまゝまゝまゝまゝまゝまゝ

まゝまゝまゝまゝ

まゝまゝ

はゝまゝまゝ

まゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝ

まゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝ

まゝまゝ

まゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝ

まゝまゝ

まゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝ

まゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝ

まゝまゝまゝ

まゝまゝまゝ

まゝまゝ

まゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝ

おしんさん、いよいよおひきののち
 おゆるしして、おゆるしをさして、
 いくつかは、人なりやうか、おほい
 せ、おゆるし、おゆるし、おゆるし、
 せん

いこのおゆるし、おゆるし、おゆるし、
 おゆるし、おゆるし、おゆるし、

おゆるし、おゆるし、おゆるし、おゆるし、

おゆるし、おゆるし、おゆるし、おゆるし、

おゆるし、おゆるし、おゆるし、おゆるし、

おゆるし、おゆるし、おゆるし、おゆるし、

おゆるし、おゆるし、おゆるし、おゆるし、

お

おゆるし、おゆるし、おゆるし、おゆるし、

おゆるし、おゆるし、おゆるし、おゆるし、

おゆるし、

おゆるし、おゆるし、おゆるし、おゆるし、

おゆるし、おゆるし、おゆるし、おゆるし、

かゝわつたよあらねわつたよのなぞを
お九なみかまのついでに
かゝるのついでに
なりけし
ちかすに
のなみかまのついでに
を

おきり
おきり

一

おきり

おきり 真静法師通守師より

おきり

おきり

おきり

おきり

おきり

おろくも多なるんをうしよはよ
はなはたしに、
せらるれよ、

寛平の頃よちの、
たあせのうま

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

のらり九ち人のばほ

~~~~~

あまのうららけはせ

おまのうららけはせ

寛平の頃よちの、

~~~~~

おろくも多なるんをうしよはよ

~~~~~

~~~~~

~~~~~

Handwritten text, possibly a name or title, written in cursive.

Handwritten text, possibly a name or title, written in cursive.

Handwritten text, possibly a name or title, written in cursive.

Handwritten text, possibly a name or title, written in cursive.

Handwritten text, possibly a name or title, written in cursive.

Handwritten text, possibly a name or title, written in cursive.

Handwritten text, possibly a name or title, written in cursive.

Handwritten text, possibly a name or title, written in cursive.

Handwritten text, possibly a name or title, written in cursive.

Handwritten text, possibly a name or title, written in cursive.

Handwritten text, possibly a name or title, written in cursive.

Handwritten text, possibly a name or title, written in cursive.

Handwritten text, possibly a name or title, written in cursive.

Handwritten text, possibly a name or title, written in cursive.

Handwritten text, possibly a name or title, written in cursive.

Handwritten text, possibly a name or title, written in cursive.

Handwritten text, possibly a name or title, written in cursive.

Handwritten text, possibly a name or title, written in cursive.

Handwritten text, possibly a name or title, written in cursive.

Dear Mother  
I received your letter of the 10th and was  
glad to hear from you and to hear that  
you were all well.

I am well and hope  
these few lines will find you all the same.

I have not much news to write at present  
but I am getting on well and hope to  
hear from you soon.

I have not much news to write at present  
but I am getting on well and hope to  
hear from you soon.

I have not much news to write at present  
but I am getting on well and hope to  
hear from you soon.

I have not much news to write at present  
but I am getting on well and hope to  
hear from you soon.

I have not much news to write at present  
but I am getting on well and hope to  
hear from you soon.

I have not much news to write at present  
but I am getting on well and hope to  
hear from you soon.

I have not much news to write at present  
but I am getting on well and hope to  
hear from you soon.

I have not much news to write at present  
but I am getting on well and hope to  
hear from you soon.

I have not much news to write at present  
but I am getting on well and hope to  
hear from you soon.

I have not much news to write at present  
but I am getting on well and hope to  
hear from you soon.

おはねさんへ  
おはねさんへ  
おはねさんへ  
おはねさんへ  
おはねさんへ

おはねさんへ

おはねさんへ  
おはねさんへ  
おはねさんへ

おはねさんへ  
おはねさんへ  
おはねさんへ

おはねさんへ

おはねさんへ

おはねさんへ  
おはねさんへ  
おはねさんへ

おはねさんへ

おはねさんへ  
おはねさんへ  
おはねさんへ

おはねさんへ

おはねさんへ  
おはねさんへ  
おはねさんへ

おはねさんへ  
おはねさんへ  
おはねさんへ

1811  
1812  
1813  
1814  
1815  
1816  
1817  
1818  
1819  
1820  
1821  
1822  
1823  
1824  
1825  
1826  
1827  
1828  
1829  
1830  
1831  
1832  
1833  
1834  
1835  
1836  
1837  
1838  
1839  
1840  
1841  
1842  
1843  
1844  
1845  
1846  
1847  
1848  
1849  
1850  
1851  
1852  
1853  
1854  
1855  
1856  
1857  
1858  
1859  
1860  
1861  
1862  
1863  
1864  
1865  
1866  
1867  
1868  
1869  
1870  
1871  
1872  
1873  
1874  
1875  
1876  
1877  
1878  
1879  
1880  
1881  
1882  
1883  
1884  
1885  
1886  
1887  
1888  
1889  
1890  
1891  
1892  
1893  
1894  
1895  
1896  
1897  
1898  
1899  
1900

1811

1812  
1813  
1814  
1815  
1816  
1817  
1818  
1819  
1820  
1821  
1822  
1823  
1824  
1825  
1826  
1827  
1828  
1829  
1830  
1831  
1832  
1833  
1834  
1835  
1836  
1837  
1838  
1839  
1840  
1841  
1842  
1843  
1844  
1845  
1846  
1847  
1848  
1849  
1850  
1851  
1852  
1853  
1854  
1855  
1856  
1857  
1858  
1859  
1860  
1861  
1862  
1863  
1864  
1865  
1866  
1867  
1868  
1869  
1870  
1871  
1872  
1873  
1874  
1875  
1876  
1877  
1878  
1879  
1880  
1881  
1882  
1883  
1884  
1885  
1886  
1887  
1888  
1889  
1890  
1891  
1892  
1893  
1894  
1895  
1896  
1897  
1898  
1899  
1900

1811

1812

1813

1814  
1815  
1816  
1817  
1818  
1819  
1820  
1821  
1822  
1823  
1824  
1825  
1826  
1827  
1828  
1829  
1830  
1831  
1832  
1833  
1834  
1835  
1836  
1837  
1838  
1839  
1840  
1841  
1842  
1843  
1844  
1845  
1846  
1847  
1848  
1849  
1850  
1851  
1852  
1853  
1854  
1855  
1856  
1857  
1858  
1859  
1860  
1861  
1862  
1863  
1864  
1865  
1866  
1867  
1868  
1869  
1870  
1871  
1872  
1873  
1874  
1875  
1876  
1877  
1878  
1879  
1880  
1881  
1882  
1883  
1884  
1885  
1886  
1887  
1888  
1889  
1890  
1891  
1892  
1893  
1894  
1895  
1896  
1897  
1898  
1899  
1900

1811

1812

1813

1814  
1815  
1816  
1817  
1818  
1819  
1820  
1821  
1822  
1823  
1824  
1825  
1826  
1827  
1828  
1829  
1830  
1831  
1832  
1833  
1834  
1835  
1836  
1837  
1838  
1839  
1840  
1841  
1842  
1843  
1844  
1845  
1846  
1847  
1848  
1849  
1850  
1851  
1852  
1853  
1854  
1855  
1856  
1857  
1858  
1859  
1860  
1861  
1862  
1863  
1864  
1865  
1866  
1867  
1868  
1869  
1870  
1871  
1872  
1873  
1874  
1875  
1876  
1877  
1878  
1879  
1880  
1881  
1882  
1883  
1884  
1885  
1886  
1887  
1888  
1889  
1890  
1891  
1892  
1893  
1894  
1895  
1896  
1897  
1898  
1899  
1900

1811

あかしてしるがごとくむねははらわぬあ  
あかしたのちのちもれがきこ  
わすれぬ事をばいふ人の心を  
ありよとちのちのちのちのちの  
わすれぬ事をばいふ人の心を  
人のちのちはあかしたるを教  
あかしたるのちのちのちのちの  
あかしたるのちのちのちのちの

かきつむは或人

あかしたるのちのちのちのちの

あか

あか

あかしたるのちのちのちのちの

あかしたるのちのちのちのちの  
あかしたるのちのちのちのちの  
あかしたるのちのちのちのちの  
あかしたるのちのちのちのちの  
あかしたるのちのちのちのちの



~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

たつたのりなるまゝのりかたけよのり  
すゝももろくろくろくろくろく

ありけしけしけしけしけしけしけし  
かきにききききききききききき  
ちちちちちちちちちちちちちち  
ちちちち

一文字のり

ふふふふふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふふふふふ

ふふふふ

ふふふふふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふふふふふ

ふふふふふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふふふふふ

ふふふふ

ふふふふふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふふふふふ

よきことしるべし

あはれしんじきと のはれお

まじりていふなごとのれとまじりていふな

おろし

みじのさしそつれんぬまはあ

かれをきらうぬ

よきことしるべし

ないしのまじりていふな

いふのあはれ

あはれしんじきと

まじりていふな

よきことしるべし

いふのあはれ  
Cantata

Cantata

あはれしんじきと

まじりていふな

かれ

完結年の所とまじりていふな

のしるしをいひて

そよ風のこゝろ

はらばらなうらなひのうらなひをいひて  
おきかへしこゝろをいひて  
なほいひて

うらなひのうらなひ

ひらひらと教へて

うらなひのうらなひ

うらなひのうらなひ

うらなひのうらなひ

かみかよのみんそら

まはるゝまはるゝ

あはひのうらなひ

霜の度ばら

たはらゆつと

あはれをいひて

うらなひのうらなひ

みねにあらはれ

かきつねさきまのりよの、ういふはま  
よきし集

みま乃復せんあま、乃かゆニ  
我ひつそをたはつよわ、まのひ  
いーいー

わっ、とのいふ丹のまづはま  
ほみ人、しむゆあ、んはみ  
う、まあわ

じちりのうき

さいのんまひひのくまかほ、まあま  
まきま、いれくまんをいひま

翻物哥

あなまま、いふ、たいとよよりう  
あひまのぬそてあかさはむる

花の下

まかゆあま、まのなるまあひに

せちばに宿るにけりはめたのた

米ある

このうたは歌謡の伝へるもの

うたのうま

みまはるを九りのせしむるは

よわなまもてきよなるは代て

う

これと貞観の伝へるみまを

うま

みの九こそまのちちかけし

教へえよこにうらむよるはよ

う

これと元慶の伝へるのみ

うま

まふりおとすまふりあしな

まふりおとすまふりあしな

う

これと仁和の伝へるのみ

うま

おれさんのしるし

あふみまめ。・おのりまめ  
れまめ。・おのりまめ  
せ。

おれ今とのおれ

おれ今とのおれ

あふまめ。・おのりまめ  
あふまめ。・おのりまめ  
あふまめ。・おのりまめ  
あふまめ。・おのりまめ

あふまめ。・おのりまめ  
あふまめ。・おのりまめ  
あふまめ。・おのりまめ  
あふまめ。・おのりまめ

あふまめ。・おのりまめ  
あふまめ。・おのりまめ  
あふまめ。・おのりまめ  
あふまめ。・おのりまめ

このおぼろげな光景の折返し

記

をうらやましく思ふに似てゐる

種々多岐にわたるが、そのうち

よ

みちをたどる人々の足音をきく

まのあたりにあるが、あつち

のあつち

あつちのあつちのあつち

あつちのあつちのあつち

あつち

あつちのあつちのあつち

あつちのあつちのあつち

あつち

あつち

あつちのあつちのあつち

あつちのあつちのあつち

あつち



ひたらうた

はれいひせらゝのまらゝのまに影  
こつぎやわしきくらゝみかきくらゝ  
まよりのけそな

しんせいのあひれきくらゝははら  
きらわしきくらゝ 飛ぬきくらゝ  
かな — ちか

甲斐女音

かゝるねんちちらうしんけい  
あまのれいしほまらちの  
なつてい

あまのれいしほまらちの  
かゝるねんちちらうしんけい  
あまのれい

乙女音

あまのれいしほまらちの  
かゝるねんちちらうしんけい

つらき心 — しのびのうらみ  
わらわのうらみ

冬のうらみ

うらみのうらみ

あそび

ちやうどわらわのうらみは清きわ  
乃非小松可代名とんこ

冬をうらみ

亦しく和歌集

此一帖四十八枚者植大紳言行感以  
真跡每款題名也依所管不  
說明之詞也

香相府錄

しらみのうきをとりよめば

よりぬきのむねをた

花のいろとりつらみよこめてみせは  
赤そぢをとりよめぬはらのしらぬ

寛平の古時のまはりのみねのうき

あしむきうき

あましくはるるはるるもくろくもくろく

うきうき

うきうき

よき人不知

はるるのくくくくくくくくくくくく

あましくはるるはるるはるるはるるのこ

ゆるむ

あんなうーおほろわくわく  
あせなあなれはしめいふ  
ちなみ

生身後のすまんうーあんな  
よみこまうまう

きしちのぼしめい

あんなうーあんなうーあんな  
あんなうーあんなうーあんな

あんなうーあんなうーあんな

ちらけのさよなりのほろけ

あきらめをてあふ〜  
みけうし 阿のま〜  
このめあ

きのゆえ

〜  
〜  
〜

みなよこしらへてしるしを  
よ

あはれおのよき人まかちるる  
ちと

よみくしつはしき

いふおはゆに

おとしんよきし  
しるねいあみあ

つのおもはたし  
しるあ

あ

人まらまらおちるは  
しるし



いづれはともかく、昔も  
いづれはともかく、昔も  
いづれはともかく、昔も  
いづれはともかく、昔も  
いづれはともかく、昔も

いづれはともかく、昔も  
いづれはともかく、昔も  
いづれはともかく、昔も  
いづれはともかく、昔も  
いづれはともかく、昔も

か

あちの九サウー  
わふちちちちわされゆ  
らふふふれらふふ  
我なまらなまら

あつむむむむむ

おきふよあつむむむむむ  
むむむむむむむむむむむ

まむのいふふふふふふふふ  
まむのいふふふふふふふふ

むのいふ

あつむむむむむむむむむ  
あつむむむむむむむむむ

ろろね

よーのはよーも型とくくくくあ  
ちくく型とくくくくわとれ粒

想海魚のしんじゆん

世申の人の情ハ花侍の福也とよと  
のよとちくくく

こくくくくくくくくくくくくく  
種を物くくくくくくくくくく

ちくくくくくく

あさひのよのちかきよこはなはなをみたりあ  
のしるまのそとへのひらきまをみたりあ  
高岡のこゝ池のちかきよのそとを  
みたりあ

うせいのあらしん

水石のまをそとへのひらきまをみたりあ

まをみたりあ

高岡のちかきよのそとをみたりあ

あらしん

る

あゝ、ちやうどおぼろのやうな川

さういふと、おぼろのやうな川

米

あゝ、ちやうどおぼろのやうな川

さういふと、おぼろのやうな川

あ

る

あゝ、ちやうどおぼろのやうな川

さういふと、おぼろのやうな川